

■コメント

1. RSウイルス感染症

定点当たり2.63人と、例年同時期と比べて多い状況が続いています。年齢別では、1歳以下の報告数が全体の71.8%を占めています。

生後数カ月までの乳児が初感染した場合は、細気管支炎や肺炎などの重篤な症状を引き起こすことがあるため、感染を避けるための注意が必要です。引き続き、咳エチケットや手洗いの励行など感染予防対策を徹底しましょう。

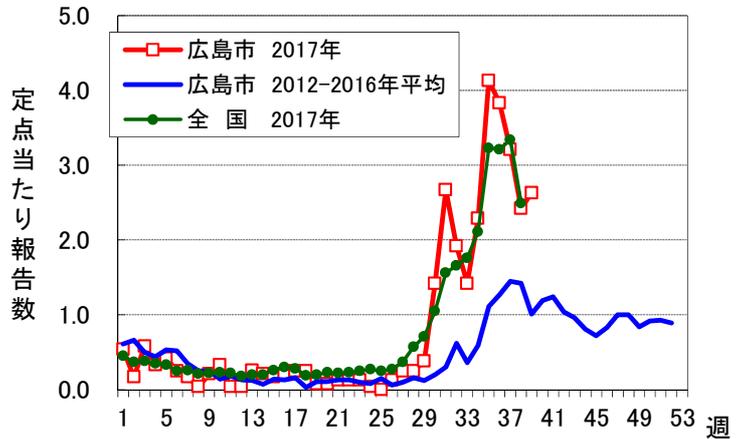
2. インフルエンザ

定点医療機関から18人(定点当たり0.49人、迅速診断キット:A型陽性17人、B型陽性1人)の報告がありました。流行前の予防接種、手洗いの励行や咳エチケットなど感染予防対策を心がけましょう。

3. レジオネラ症

3件の報告があり、今年の累計は19件となりました。

RSウイルス感染症の流行状況



【参考】厚生労働省「RSウイルス感染症Q&A」

http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou19/rs_qa.html

■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号
小児科	インフルエンザ	18	0.49	0.06	↑	小児科	流行性耳下腺炎	1	0.04	0.71	
小児科	咽頭結膜熱	9	0.38	0.27		眼科	RSウイルス感染症	63	2.63	1.01	⇒
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	44	1.83	1.15	⇒		急性出血性結膜炎	-	-	0.03	
	感染性胃腸炎	90	3.75	3.85	⇒		流行性角結膜炎	4	0.50	1.18	
	水痘	9	0.38	0.51			細菌性髄膜炎	-	-	0.03	
	手足口病	43	1.79	1.25	⇒		無菌性髄膜炎	-	-	0.09	
	伝染性紅斑	-	-	0.17			マイコプラズマ肺炎	-	-	0.40	
	突発性発しん	6	0.25	0.44			クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	
	百日咳	-	-	0.08			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	
	ヘルパンギーナ	7	0.29	0.29							

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
増減	⇒	⇐	前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減
微増減	⇨	⇩	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
横ばい	⇨		ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	4	107	女性(50歳代)・1人、男性(70歳代)・1人、女性(70歳代)・1人、女性(80歳代)・1人
4	レジオネラ症	3	19	男性(60歳代)・1人、男性(60歳代)・市外・1人、男性(70歳代)・1人
5	梅毒	1	49	女性(50歳代)

■定点把握感染症報告状況(週報対象)の推移

報告数	報告地	週次	インフルエンザ	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	RSウイルス感染症	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	(ロタウイルス)	感染性胃腸炎
			広島市	第35週	21	8	38	97	6	56	2	5	-	23	1	99	1	3	-	-	1	-
広島市	第36週	13	14	48	86	9	45	3	10	2	15	2	92	-	3	-	-	-	-	-	-	-
広島市	第37週	10	4	35	87	4	48	-	4	-	7	-	77	-	8	-	-	-	-	-	-	-
広島市	第38週	6	4	32	76	12	48	-	7	-	6	4	58	-	8	-	-	-	-	-	-	-
広島市	第39週	18	9	44	90	9	43	-	6	-	7	1	63	-	4	-	-	-	-	-	-	-
広島市	第35週	0.57	0.33	1.58	4.04	0.25	2.33	0.08	0.21	-	0.96	0.04	4.13	0.13	0.38	-	-	0.14	-	-	-	-
広島市	第36週	0.35	0.58	2.00	3.58	0.38	1.88	0.13	0.42	0.08	0.63	0.08	3.83	-	0.38	-	-	-	-	-	-	-
広島市	第37週	0.27	0.17	1.46	3.63	0.17	2.00	-	0.17	-	0.29	-	3.21	-	1.00	-	-	-	-	-	-	-
広島市	第38週	0.16	0.17	1.33	3.17	0.50	2.00	-	0.29	-	0.25	0.17	2.42	-	1.00	-	-	-	-	-	-	-
広島市	第39週	0.49	0.38	1.83	3.75	0.38	1.79	-	0.25	-	0.29	0.04	2.63	-	0.50	-	-	-	-	-	-	-
全国	第37週	0.22	0.46	1.54	3.29	0.20	3.88	0.06	0.45	0.01	0.97	0.39	3.34	0.01	1.00	0.02	0.05	0.32	0.01	0.01	0.01	0.01
全国	第38週	0.18	0.38	1.20	2.60	0.20	2.67	0.04	0.38	0.01	0.56	0.31	2.49	0.01	0.85	0.03	0.04	0.30	0.02	-	-	-

■新たに判明した病原体検出状況

(検査:広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
ヘルパンギーナ	熱性痙攣	4	男	2017/08/20	咽頭拭い液	コクサッキーウイルスA6型
無菌性髄膜炎	発熱(38.4) 髄膜炎 項部硬直	9	男	2017/08/09	髄液	エコーウイルス9型
その他の消化器疾患	血便	0	男	2017/08/21	糞便	ハレコウイルス4型
その他の疾患	発熱(38.8)	0	女	2017/08/15	糞便 鼻汁	エコーウイルス25型

* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載

【参考】広島市における梅毒の発生動向について

年間報告数の推移

(2017年第39週現在)



年齢階層別報告数

2017年累計(第39週現在)



第39週に1件の報告がありました。今年の累計は49件(男性27件、女性22件)で、昨年同時期(16件)の約3.1倍となっています。患者の年齢は20~40代が全体の87.8%を占め、男性では30、40代、女性では20代が最も多くなっています。

感染が疑われる症状が見られた場合には、早めに医療機関を受診し、相談しましょう。梅毒に感染していたことがわかった場合には、パートナーも検査を行い、必要に応じて一緒に治療することが重要です。

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

なお、感染症情報の詳細についてはホームページでご覧いただけます。

URL <http://www.city.hiroshima.lg.jp/eiken/center.html>

【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号
TEL (082) 277-6575 FAX (082) 277-5666 E-Mail ei-seikatsu@city.hiroshima.lg.jp

2017年第39週(9月25日~10月1日)